

carrozzeria

MDLP



はじめに

基本

テレビ

ラジオ

MD (AVIC-V07MD)

交通情報

録音

TVモニター設定

音の調整

付録

取扱説明書

7.0型ワイドTV / MD • DSPAV パワーユニット
AVIC-V07MD

7.0型ワイドTV • DSPAV パワーユニット
AVIC-V07

Pioneer

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

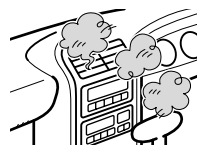
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する




必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

本書をお読みになる前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。

参照マーク 

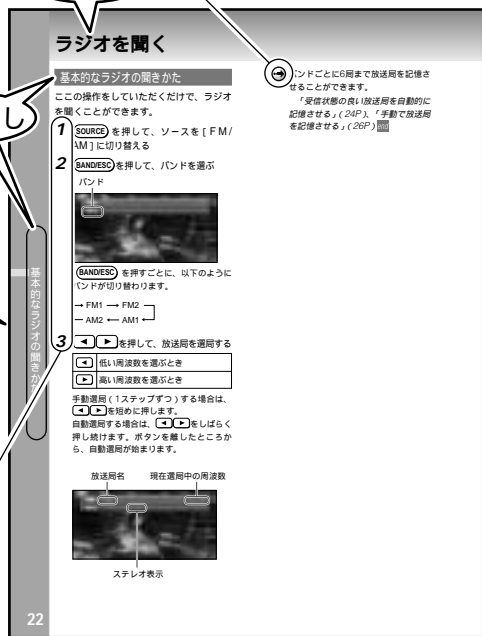
参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。

大見出し

中見出し

すぐに使いたい場合は、この帯の付いている部分をお読みください。

操作手順の順番を示す番号



ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、その知りたい情報を探しやすいように構成されています。

情報の探しかた

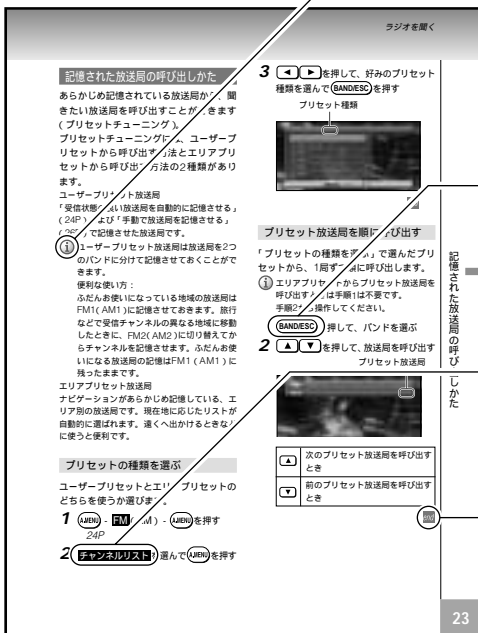
大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

中見出しは探しやすいように、ページをめくる側の全ページに入っています。



インフォメーションマーク **i**

操作上、注意すべきことや操作上の
ヒント、便利な使いかたなどについ
て説明します。

リモコンや本体上のボタン

リモコンや本体などについているボ
タンを表します。

画面上のメニューやボタン

画面上に表示されるメニューやボタ
ンを表します。

endマーク **end**

操作手順の終わりを表します。

注意マーク **!**

安全のために、必ず守っていただきこ
とです。

操作を行う状況において注意していただ
きたいことや、本製品の性能を維持するう
えで注意していただきたいことについて説
明します。

続きマーク **>>**

右ページにおいて、操作手順が次ページに
続く場合を表します。

i 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。

実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
はじめに	本書の見かた	4
	はじめに	8
	ご使用前に知っておいていただきたいこと	8
	各部の名前とおもな働き	9
	TVモニターの立ち上げと調整のしかた	13
	長時間録音されたMDの再生について	14
基本	基本操作	15
	ソースを切り替える	15
	メニューを表示する	16
テレビ	テレビを見る	17
	基本的なテレビの見かた	17
	記憶されたチャンネルの呼び出しかた (プリセットチューニング)	18
	プリセットの種類を選ぶ	18
	プリセットチャンネルを順に呼び出す	18
	プリセットチャンネルのリストから呼び出す	19
	便利な機能	19
	[TV]メニューを開く	19
	受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる(BSSM)	19
	音声多重放送の副音声を聞く	20
手動でチャンネルを記憶させる(マニュアルプリセット)	20	
ラジオ	ラジオを聞く	22
	基本的なラジオの聞きかた	22
	記憶された放送局の呼び出しかた (プリセットチューニング)	23
	プリセットの種類を選ぶ	23
	プリセット放送局を順に呼び出す	23
	プリセット放送局のリストから呼び出す	24
	便利な機能	24
	[FM](AM)メニューを開く	24
	受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる(BSM)	24
	FMダイバーシティを設定する	25
手動で放送局を記憶させる(マニュアルプリセット)	26	

M D	MDを聞く (AVIC-V07MDのみ)	27
	基本的なMDの聞きかた	27
	便利な機能	27
	[MD]メニューを開く	27
	同じ曲を繰り返し聞く (リピート)	28
	いつもと違う曲順で聞く (ランダム)	28
	聞きたい曲を探す (スキャン)	29
	リストから聞きたい曲を探す (トラックリスト)	30
再生を一時停止する (ポーズ)	30	
交通情報	交通情報を受信する	31
録音	MD、TVなどをミュージックサーバーに録音する	32
	音声をミュージックサーバーに録音する	32
TV モニター 設定	TVモニターの設定	34
	TVモニターの自動開閉の設定をする	34
	画質の調整をする	34
	画面を切り替える	37
	ビデオを見られるようにする	40
音の 調整	音を調整する	42
	音場と音質の調整	46
付 録	その他の機能と付録	52
	TVモニターの正しい使いかた	52
	MDの正しい使いかた	54
	本機のリセットのしかた	55
	故障かな?と思ったら	56
	保証書とアフターサービス	59
	仕様	60
	索引	62
	メニュー索引	62

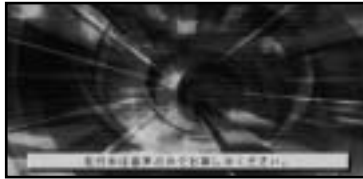
はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオ、TVモニターの各種設定、調整はできません。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例) テレビを見ようとしたとき



画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

➡ 「黒の濃さやコントラストを調整する」(34P)、「液晶画面の明るさを調整する」(36P)を参照してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

TVモニターの液晶画面を保護するために

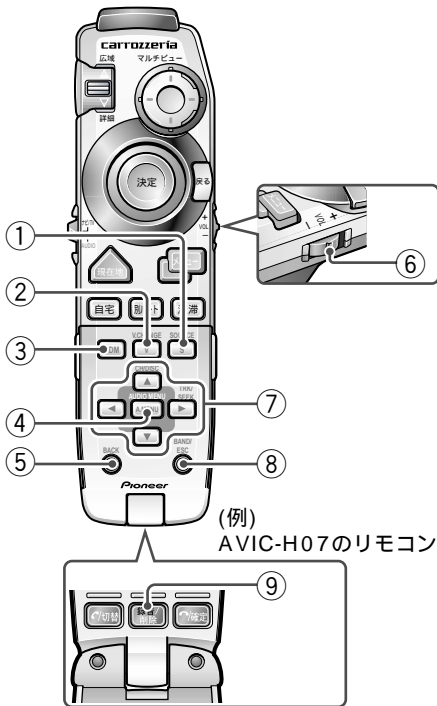
本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

➡ 「TVモニターの正しい使いかた」(52P)を参照してください。

各部の名前とおもな働き

ナビゲーション本体に付属のリモコン

本書は、おもにナビゲーション本体に付属のリモコンによる操作の説明を行っています。

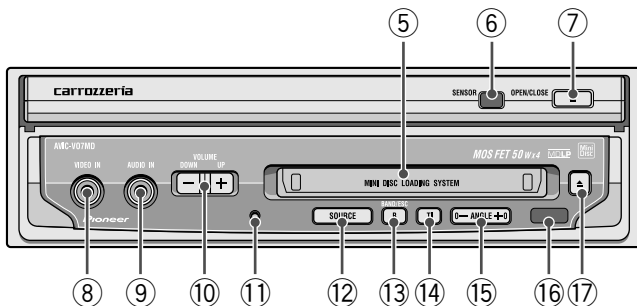
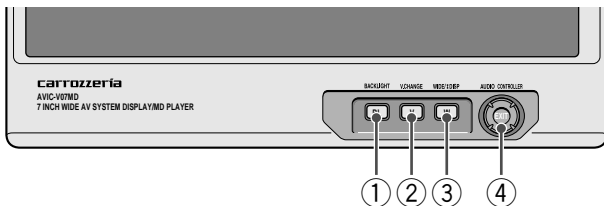


(例)
AVIC-H07のリモコン

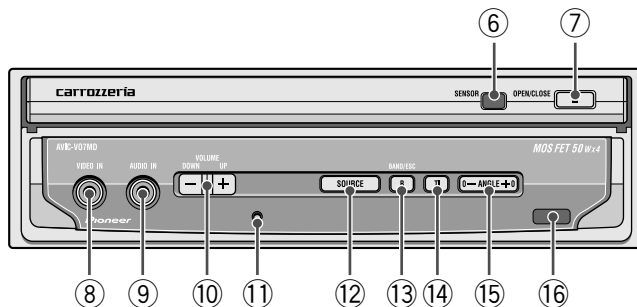
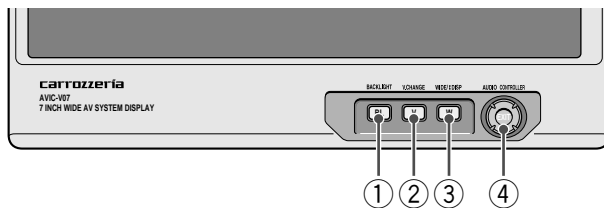
- ① **SOURCE**ボタン
(15ページ)
ソース (音源) を切り替えたり、ソースをOFFにします。
- ② **V.CHANGE**ボタン (17ページ)
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えたり、2画面表示の場合は、左右画面を入れ替えます。
- ③ **DOUBLE DISPLAY MODE**ボタン
DDM(37ページ)
2画面表示に切り替えるときに使います。
- ④ **AUDIO MENU**ボタン
(16ページ)
オーディオメニューを表示したり、項目を決定するときに使います。
- ⑤ **BACK**ボタン (12ページ)
[オーディオメニュー]画面で、前の画面に戻るときに使います。
- ⑥ **VOLUME**つまみ (42ページ)
音量を調節できます。
つまみを押し込むと、音量が約1/10になります。(押し込むたびに、アッテネーターをON/OFFできます。)
- ⑦ **▲ボタン/▼ボタン/◀ボタン/▶ボタン**
(12ページ)
- ⑧ **BAND/ESCAPE**ボタン
(12ページ)
バンドを切り替えたり、[オーディオメニュー]画面や[画質調整]メニューが表示されているときに押すと、メニューを解除します。
- ⑨ **録音/削除**ボタン **録音/削除**
(32ページ)
音声の録音や、入力した文字を削除するときに使います。

本体

AVIC-V07MD



AVIC-V07



各部の名前とおもな働き

① BACKLIGHTボタン **[BL]**

(40ページ)

映像のON/OFFを切り替えます。

② V.CHANGEボタン

(17ページ)

ナビゲーション画面とソース画面を切り替えたり、2画面表示の場合は、左右画面を入れ替えます。

③ WIDE/DISPLAYボタン **[W]**

(38ページ)

ワイドモードを切り替えたり、[画質調整]メニューを表示します。

④ AUDIOコントローラー/ENTERボタン
(12ページ)

オーディオメニューの操作や選曲などに使用します。

⑤ MD挿入口 (27ページ)

MDを挿入します。

⑥ 外光センサー (34ページ)

周囲の明るさを感知します。

⑦ OPEN/CLOSEボタン **[▲]**

(13ページ)

TVモニターを開閉します。

⑧ VIDEO IN

別売の接続ケーブル「KW-13JC」を使用して、外部ビデオ機器を接続することができます。

⑨ AUDIO IN

別売の接続ケーブル「KW-13JC」を使用して、外部オーディオ機器を接続することができます。

⑩ VOLUMEボタン (42ページ)

[+]	音量を大きくするとき
[-]	音量を小さくするとき

⑪ リセットボタン (55ページ)

マイコンをリセットします。

⑫ SOURCEボタン

(15ページ)

ソース(音源・映像)を切り替えたり、ソースをOFFにします。

⑬ BAND/ESCAPEボタン

(12ページ)

バンドを切り替えたり、[オーディオメニュー]画面や[画質調整]メニューが表示されているときに押すと、メニューが解除されます。

⑭ TIボタン **[TI]** (31ページ)

交通情報を受信します。

⑮ ANGLEボタン **[ANGLE+]**

(14ページ)

TVモニターの角度を調整します。

[ANGLE+]	画面を上向きにするとき
[ANGLE-]	画面を下向きにするとき

⑯ リモコン受光部

リモコンからの信号をここで受信します。











⑰ MD取り出しボタン **[▲]**

(27ページ)

MDを取り出します。

共通操作ボタン対応表

本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンとTVモニターに共通するボタンを、同じマークで表して操作説明しています。

ナビゲーション 本体に付属のリモコン	本体のボタン	本書で使用するマーク
VOLUMEツマミ	VOLUMEボタン	
V.CHANGEボタン	V.CHANGEボタン	
SOURCEボタン	SOURCEボタン	
▲ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを上を倒す	
▼ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを下を倒す	
◀ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを左を倒す	
▶ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを右を倒す	
AUDIO MENUボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを押す	
BACKボタン	1	
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	

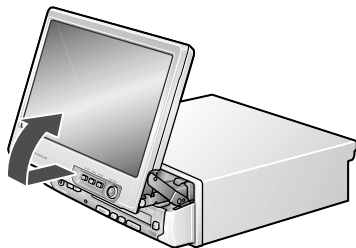
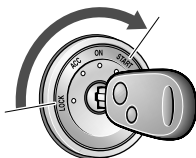
1 WIDE/DISPLAYボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

TVモニターの立ち上げと調整のしかた

TVモニターを立ち上げる

エンジンスイッチをONまたはACCにすると、TVモニターが自動的に立ち上がります。

1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

i ナビゲーション画面に切り替える場合は **V** を押してください。画面が切り替わります。

- TVモニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、角度を調整してください。

「TVモニターの角度を調整する」
(14P)

- TVモニターを手動で立ち上げる場合は、TVモニターの **▲** を押してください。

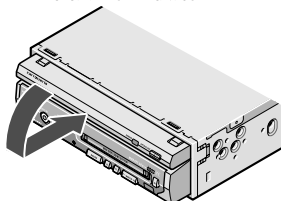
- TVモニターが自動的に立ち上がらない場合は、**オートフラップ設定** を **AUTO** にしてください。

「TVモニターの自動開閉の設定をする」(34P)

- TVモニターを収納した後に、エンジンスイッチをOFFにした場合は、再度エンジンスイッチをONまたは、ACCにしてもTVモニターは、自動的に立ち上がりません。TVモニターの **▲** を押して、手動でTVモニターを立ち上げてください。 **end**

TVモニターを収納する

エンジンスイッチをOFFにすると、TVモニターが自動的に収納されます。

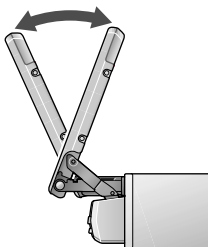


- i** • TVモニターを手動で収納する場合は、TVモニターの **▲** を押してください。
- 本機の電源を入れたまま、手動でTVモニターを収納すると音声は出力されません。
- !** TVモニターが完全に収納されたことを確認してください。TVモニターが途中で止まってしまった場合、そのまま放置しないでください。故障の原因になることがあります。

TVモニターの角度を調整する

画面を見やすい角度に調整することができます。一度調整すれば、次回から同じ角度で立ち上がります。

- 1 TVモニターが立ち上がった状態で、TVモニターの **[ANGLE+]** を押して角度を調整する



[ANGLE+]	画面を上向きにするとき
[ANGLE-]	画面を下向きにするとき

- ⚠ モニターを手で直接つかんで、角度の調整をしないでください。TVモニターに強い力を加えると故障の原因になります。 **end**

長時間録音されたMDの再生について

本機はMDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPについて

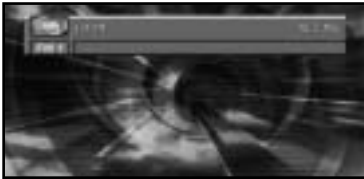
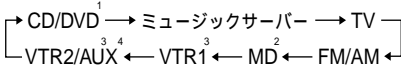
- MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く（2倍、4倍の時間）録音することができる圧縮方式です。
- 本機はMDのグループ機能に対応していません。グループ登録されたMDを再生すると、ディスクタイトルはグループ名などを含めた状態で表示されます。

基本操作

ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルや放送局名、アルバムタイトルなどを確認することができます。

- 1 **[SOURCE]**を押して、ソースを切り替える
[SOURCE]を押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。



ナビゲーション画面のときは、**[SOURCE]**を押すと音声のみ切り替わります。選んだソースの映像を見たいときは、**[V]**を押してソース画面に切り替えてください。

- 1 DVDはAVIC-H09と組み合わせた場合です。
- 2 MDは、AVIC-V07MDのみです。
- 3 [入力設定]でVTR1、VTR2/AUXをONにすると、VTR1、VTR2/AUXにも切り替わるようになります。

「ビデオを見られるようにする」
(40P)

- 4 VTR2の映像入力端子 (VIDEO IN) に、何も接続されていない場合は、AUXとして切り替わります。

- i** • CD/DVDのディスクが挿入されていない状態でCD/DVDに切り替えると [ディスクを挿入してください。] とメッセージが表示されます。
- MDが挿入されていない場合は、MDへは切り替わりません。end

ソースをOFFにする

- 1 **[SOURCE]**をしばらく押し続ける
ソースがOFFになります。
もう一度**[SOURCE]**を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

- i** ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。end

ソースの映像を見る

映像をソース画面 (テレビ、ビデオ、DVD、CD、MD、ミュージックサーバー) とナビゲーション画面で切り替えることができます。

- 1 **[V]**を押して映像を切り替える
[V]を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



ソース画面



end

メニューを表示する

1 各ソース画面で(A.MENU)を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

- ミュージックサーバーメニュー
- TVメニュー
- CD/DVDメニュー
- MDメニュー (AVIC-V07MDのみ)
- VTR1、VTR2メニュー
「ビデオを見られるように設定する」
(40P)



2 を押してメニュー項目を選び
(A.MENU)を押す
選んだ項目を実行します。

(例) [AUDIO&DSP設定]メニュー



- **メニューを閉じる**、**戻る** を選ぶ、
または(BACK)を押すと、前の画面に戻ります。
- [オーディオメニュー]を解除するには(BAND/ESC)を押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。) **end**

テレビを見る

基本的なテレビの見かた

この操作をしていただくだけで、テレビを見ることができます。

1 **[SOURCE]**を押して、ソースを[TV]に切り替える

- ① 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを[TV]にした場合は、音声のみ切り替わります。

2 **[V]**を押して、テレビの映像にする



[V]を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

テレビ ↔ ナビゲーション

3 **[BAND/ESC]**を押して、バンドを選ぶ



[BAND/ESC]を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。

TV1 ↔ TV2

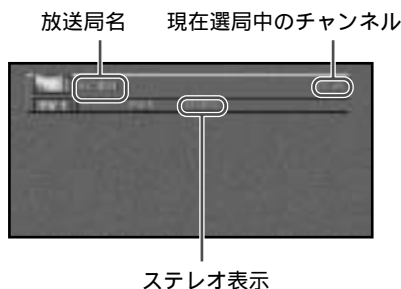
- ① バンドごとに12個のチャンネルが用意されています。

4 **[◀▶]**を押して、チャンネルを選局する

[◀]	前のチャンネルを選ぶとき
[▶]	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局(1ステップずつ)する場合は、**[◀▶]**を短めに押します。

自動選局する場合は、**[◀▶]**をしばらく押し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。



- ① 受信できるチャンネルは、1ch～62chです。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ること、また[オーディオメニュー]を開くことはできませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)
- ➡ バンドごとに12局までチャンネルを記憶させることができます。

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる(19P)」
「手動的にチャンネルを記憶させる(20P)end

記憶されたチャンネルの呼び出し

あらかじめ記憶されているチャンネルから、放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、TVプリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

TVプリセットチャンネル

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(19P)および「手でチャンネルを記憶させる」(20P)で記憶させたチャンネルです。

i TVプリセットチャンネルは、チャンネルをTV1とTV2の2つのバンドに分けて記憶させておくことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1に記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、TV2に切り替えてからチャンネルを記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルの記憶はTV1に残ったままです。

エリアプリセットチャンネル

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルです。現在地に合ったリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

TVプリセットとエリアプリセットのどちらを使うか選びます。

1 (A.MENU) - TV - (A.MENU)を押す 19P

2 チャンネルリストを選んで(A.MENU)を押す

3 ◀ ▶ を押して、好みのプリセット種類を選んで(BAND/ESC)を押す
プリセット種類



end

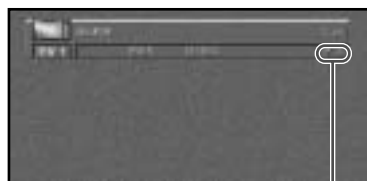
プリセットチャンネルを順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから1局ずつ順に呼び出します。

i エリアプリセットからプリセットチャンネルを呼び出すときは、手順1は不要です。手順2から操作してください。

1 (BAND/ESC)を押して、バンドを選ぶ

2 ▲ ▼ を押して、チャンネルを呼び出す



プリセットチャンネル

▲	次のプリセットチャンネルを呼び出すとき
▼	前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

end

プリセットチャンネルのリストから呼び出す

TVプリセットチャンネルまたはエリアプリセットチャンネルのリストを表示して、そこからチャンネルを呼び出します。

- 1 (A.MENU) - TV - (A.MENU) を押す
「[TV]メニューを開く」
- 2 チャンネルリスト を選んで (A.MENU) を押す



- 3 (◀) (▶) を押して、好みのプリセット種類を選ぶ
プリセット種類



① ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

- 4 (▲) (▼) を押して、見たいチャンネルを選んで (A.MENU) を押す

- ①
- エリアプリセット中にバンドを切り替えた場合は、TVプリセットに切り替わります。
 - リスト表示されても、現地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

- 5 (BAND/ESC) を押して、[TV]メニューを解除する end

便利な機能

テレビを見る場合の詳細設定 (BSSM、音声多重設定、マニュアルプリセット) は、[TV]メニューで行います。

[TV]メニューを開く

- 1 (A.MENU) を押す
- 2 TV を選んで (A.MENU) を押す
[TV]メニューが表示されます。



end

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

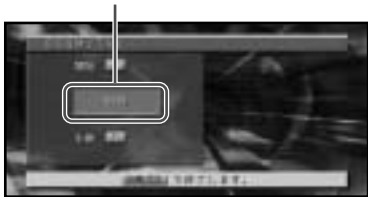
バンドごとにチャンネルを12局まで、チャンネル番号の小さい順に記憶させることができます (BSSM)。

- 1 (BAND/ESC) を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ
- 2 (A.MENU) - TV - (A.MENU) を押す
「[TV]メニューを開く」
- 3 BSSM を選んで (A.MENU) を押す



つづく >>

4 **[▲]**を押して、BSSMを開始する
BSSM中は点滅します。



[▼]を押すと、BSSMを中断します。

- ① • BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー) の略です。
- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

5 **[BAND/ESC]**を押して、[TV]メニューを解除する

- ② 記憶させたチャンネルの呼び出しかたは、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(18P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(19P)を参照してください。

end

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。

- ① 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 **[A.MENU]** - **[TV]** - **[A.MENU]**を押す 19P

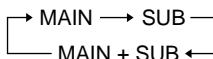
2 **音声多重設定**を選んで**[A.MENU]**を押す



3 **[◀]** **[▶]**を押して、聞きたい音声を
選ぶ



[◀] **[▶]**を押すごとに、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声(日本語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN + SUB	主・副音声(日本語+外国語)

4 **[BAND/ESC]**を押して、[TV]メニューを解除する end

手動でチャンネルを記憶させる

バンドごとにチャンネルを12局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1 **[A.MENU]** - **[TV]** - **[A.MENU]**を押す 19P

2 **マニュアルプリセット**を選んで**[A.MENU]**を押す



- 3 **▲** **▼** を押して、記憶させたいプリセットNO.を選ぶ



- 4 **◀** **▶** を押して、チャンネルを選局する

◀	前のチャンネルを選ぶとき
▶	次のチャンネルを選ぶとき

- i** **◀** **▶** をしばらく押し続けると、受信できる周波数を自動的にさがします。

- 5 **AMENU** を押して、受信チャンネルを記憶する



- i** 続けて手動でチャンネルを設定する場合は、手順3から繰り返してください。

- 6 **BAND/ESC** を押して、[TV]メニューを解除する

- 記憶させたチャンネルの呼び出しかたは、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(18P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(19P)を参照してください。

end

ラジオを聞く

基本的なラジオの聞きかた

この操作をしていただくだけで、ラジオを聞くことができます。

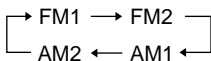
1 **(SOURCE)** を押して、ソースを [FM/AM] に切り替える

2 **(BAND/ESC)** を押して、バンドを選ぶ

バンド



(BAND/ESC) を押すごとに、以下のようにバンドが切り替わります。



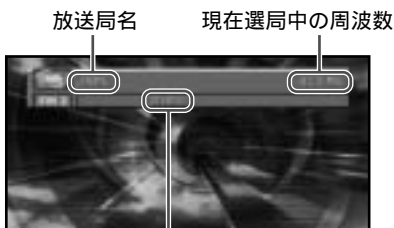
3 **(◀▶)** を押して、放送局を選局する

(◀)	低い周波数を選ぶとき
(▶)	高い周波数を選ぶとき

手動選局 (1ステップずつ) する場合は、

(◀▶) を短めに押します。

自動選局する場合は、**(◀▶)** をしばらく押し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。



ステレオ表示

➡ バンドごとに6局まで放送局を記憶させることができます。

「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(24P)、「手動で放送局を記憶させる」(26P) **end**

記憶された放送局の呼び出ししかた

あらかじめ記憶されている放送局から、聞きたい放送局を呼び出すことができます(プリセットチューニング)。

プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

ユーザープリセット放送局

「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(24P)および「手動で放送局を記憶させる」(26P)で記憶させた放送局です。

i ユーザープリセット放送局は放送局を2つのバンドに分けて記憶させておくことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域の放送局はFM1(AM1)に記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、FM2(AM2)に切り替えてからチャンネルを記憶させます。ふだんお使いになる放送局の記憶はFM1(AM1)に残ったままです。

エリアプリセット放送局

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別の放送局です。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザープリセットとエリアプリセットのどちらを使うか選びます。

1 (A.MENU) - **FM**(AM) - (A.MENU)を押す
24P

2 チャンネルリストを選んで(A.MENU)を押す

3 ◀▶を押して、好みのプリセット種類を選んで(BAND/ESC)を押す

プリセット種類



end

プリセット放送局を順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから、1局ずつ順に呼び出します。

i エリアプリセットからプリセット放送局を呼び出すときは手順1は不要です。手順2から操作してください。

1 (BAND/ESC)を押して、バンドを選ぶ

2 ▲▼を押して、放送局を呼び出す
プリセット放送局



▲	次のプリセット放送局を呼び出すとき
▼	前のプリセット放送局を呼び出すとき

end

プリセット放送局のリストから呼び出す

ユーザープリセット放送局またはエリアプリセット放送局のリストを表示して、そこから放送局を呼び出します。

- 1 (A.MENU) - FM (AM) - (A.MENU) を押す
「[FM] (AM) メニューを開く」
- 2 チャンネルリストを選んで (A.MENU) を押す



- 3 (Left Arrow) (Right Arrow) を押して、好みのプリセット種類を選ぶ

プリセット種類



- i** ここで選んだプリセット種類が、次からのプリセットになります。

- 4 (Up Arrow) (Down Arrow) を押して、放送局を選んで (A.MENU) を押す

- i**
- エリアプリセット中にバンドを切り替えた場合は、ユーザープリセットに切り替わります。
 - リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

- 5 (BAND/ESC) を押して、[FM] (AM) メニューを解除する **end**

便利な機能

ラジオを聞く場合の詳細設定 (BSM、FM ダイバーシティ設定、マニュアルプリセット) は、[FM] または [AM] で行います。

[FM] (AM) メニューを開く

- 1 (A.MENU) を押す
- 2 FM (AM) を選んで (A.MENU) を押す
[FM] (AM) メニューが表示されます。



end

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

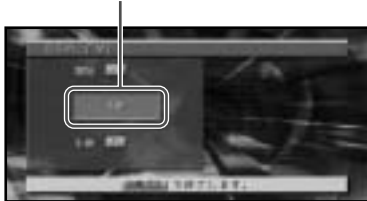
バンドごとに放送局をさがして、6局まで周波数の低い順に、自動的に記憶させることができます (BSM)。

- 1 (BAND/ESC) を押して、放送局を記憶させるバンドを選ぶ
- 2 (A.MENU) - FM (AM) - (A.MENU) を押す
「[FM] (AM) メニューを開く」

3 BSM を選んで (A.MENU) を押す



4 (▲) を押して BSM を開始する BSM中は点滅します。



(▼) を押すと、BSMを中断します。

- ① • BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

5 (BAND/ESC) を押して、[FM] (AM) メニューを解除する

- ➔ 記憶させた放送局を呼び出すには、「プリセット放送局を順に呼び出す」(23P)、「プリセット放送局のリストから呼び出す」(24P)を参照してください。end

FMダイバーシティを設定する

FMダイバーシティのシステムをお使いになる場合は、ダイバーシティの設定をONにします。

- ① • FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。
- ダイバーシティをONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪い場合に、サブ用アンテナに切り替えて受信します。

- FMダイバーシティのシステムを組んでいない場合は、ダイバーシティの設定をOFFにしておいてください。ONに設定すると、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。
- AMではFMダイバーシティの設定をすることはできません。

1 (BAND/ESC) を押して、[FM1] または [FM2] を選ぶ



2 (A.MENU) - FM - (A.MENU) を押す 24P

3 FMダイバーシティ設定 を選んで (A.MENU) を押す



4 (▲) を押して、ダイバーシティ設定を ON にする



(▼) を押すと、OFFに切り替わります。

5 (BAND/ESC) を押して、[FM] メニューを解除する end

手動で放送局を記憶させる

バンドごとに放送局を6局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1 (A.MENU) — FM (AM) — (A.MENU) を押す
24P

2 マニュアルプリセットを選んで(A.MENU)を押す



3 (▲) (▼) を押して、記憶させたい放送局NO.を選ぶ



4 (◀) (▶) を押して、放送局を選局する

(◀)	低い周波数を選ぶとき
(▶)	高い周波数を選ぶとき

(i) (◀) (▶) をしばらく押し続けると、受信できる周波数を自動的にさがします。

5 (A.MENU) を押して、受信放送局を記憶する



(i) 続けて手動で放送局を設定する場合は、操作3から繰り返してください。

6 (BAND/ESC) を押して、[FM] (AM) メニューを解除する


(→) 記憶させた放送局の呼び出しかたは、「プリセット放送局を順に呼び出す(23P)」「プリセット放送局のリストから呼び出す(24P)」を参照してください。end


MDを聞く (AVIC-V07MDのみ)

基本的なMDの聞きかた

この操作をしていただくだけで、MDを聞くことができます。

1 MDのラベル面を上にして、MD挿入口に差し込む



 MD挿入口にはMD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

 MDシャッターが閉まっているか確認してから挿入してください。

• **[SOURCE]**を押してソースをMDに切り替えることもできます。その場合、MDが挿入されていないと、MDソースに切り替えることができません。



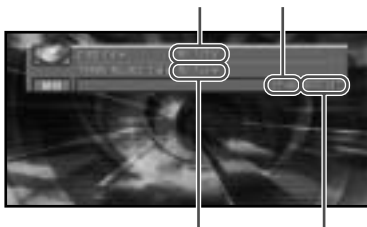
2 を押して、曲を選ぶ

	前の曲を選ぶとき
	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、 をしばらく押し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく押し続けます。


アルバムタイトル MDLP



トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

3 MD挿入口横の を押して、MDを取り出す

再生を中止して、MDが出てきます。

-  出てきたMDは、すぐに取り出して保管してください。
- MDを挿入したまま、他のソースに切り替えたり、ソースをOFFにすることもできます。 **end**

便利な機能

MDを聞く場合の詳細設定 (リピート、ランダム、スキャン、トラックリスト、ポーズ) は、[MD]メニューで行います。

[MD]メニューを開く

1 を押す

2 **[MD]**を選んで を押す

[MD]メニューが表示されます。



end

同じ曲を繰り返し聞く

今聞いている曲を、繰り返し聞くことができます (リピート)。

1 (A.MENU) - MD - (A.MENU)を押す 27P

2 リピートを選んで(A.MENU)を押す



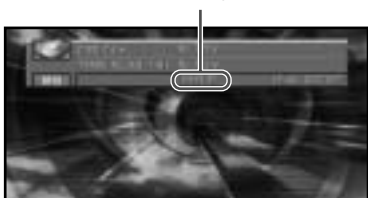
3 (▲) (▼)を押して、リピート設定をONにする



(▲) (▼)を押すと、ON/OFFが切り替わります。

4 (BAND/ESC)を押して、[MD]メニューを解除する

リピート再生中の表示



end

いつもと違う曲順で聞く

選曲を本機にまかせて、いつもと違う曲順で再生することができます (ランダム)。

1 (A.MENU) - MD - (A.MENU)を押す 27P

2 ランダムを選んで(A.MENU)を押す



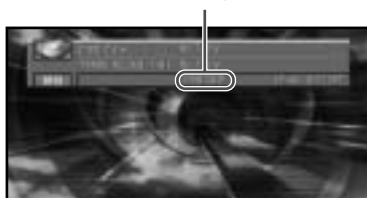
3 (▲) (▼)を押して、ランダム設定をONにする



(▲) (▼)を押すと、ON/OFFが切り替わります。

4 (BAND/ESC)を押して、[MD]メニューを解除する

ランダム再生中の表示



end

聞きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ次々に聞くことができます (スキャン)。

1 (A.MENU) - MD - (A.MENU)を押す 27P

2 スキャンを選んで(A.MENU)を押す



3 (▲) (▼)を押して、スキャン設定をONにする



(▲) (▼)を押すと、ON/OFFが切り替わります。

- ① • スキャン再生を始めてから、約30秒で、通常画面に戻ります。
(自動的に[MD]メニューが解除されます。)
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

スキャン再生中の表示



4 聞きたい曲が再生されたら (◀) (▶)を押して、スキャン設定をOFFにする

① [スキャン設定]画面が表示されていない場合は、手順1より行って、スキャン設定をOFFにします。

5 (BAND/ESC)を押して、[MD]メニューを解除する end

リストから聞きたい曲を探す

曲名をリスト表示して、選曲することができます (トラックリスト)。

- 1 (A.MENU) - MD - (A.MENU)を押す 27P
- 2 **トラックリスト**を選んで(A.MENU)を押す



- 3 聞きたいタイトルにカーソルを合わせて、(A.MENU)を押す



	カーソルを上移動するとき
	カーソルを下移動するとき
	リストを戻すとき
	リストを送るとき

選んだ曲が再生されます。
再生中の曲には“”が付きまます。

- ① リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、 を押して表示させます。表示中のリストの1曲目もしくは6曲目を選択しているときにもしくはを押すとリストの前ページ、次ページに送ることができます。
- タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。(ただし、半角、全角の混在はできません。)
- タイトルが記憶されていない場合は、[NO Title]と表示されます。
- 一部、表示できない文字があります。

- 4 (BAND/ESC)を押して、[MD]メニューを解除する **end**

再生を一時停止する

MD再生を一時停止することができます (ポーズ)。

- 1 (A.MENU) - MD - (A.MENU)を押す 27P
- 2 **ポーズ**を選んで(A.MENU)を押す



- 3 を押して、ポーズを**ON**にする



を押すと、ON/OFFが切り替わります。

- 4 (BAND/ESC)を押して、[MD]メニューを解除する

ポーズ中の表示



end

交通情報を受信する

交通情報の受信周波数AM1,620kHz、1,629kHzを簡単に受信することができます。

- ① • この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- TVモニターを収納しているときは使えません。

1 本体の **[TI]** を押して、ソースを交通情報に切り替える

AM1,620kHzの交通情報を受信します。

2 **[◀]** **[▶]** を押して、周波数を切り替える

受信周波数



[◀]	1,620kHz にするとき
[▶]	1,629kHz にするとき

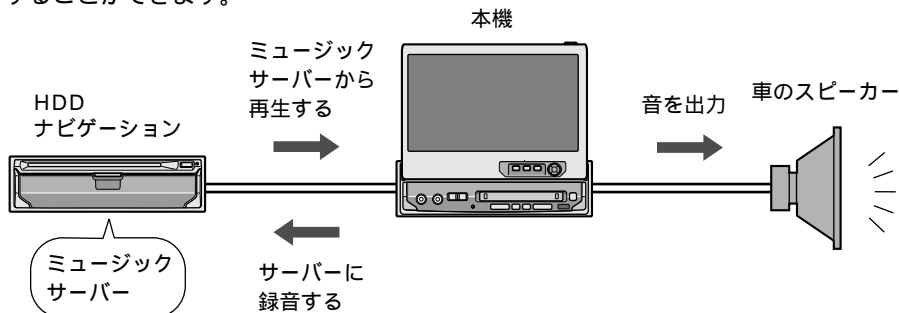
3 もう一度本体の **[TI]** を押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前のソースに戻ります。

- ② • 交通情報を受信しているときに、音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報を受信しているときは、[オーディオメニュー]の **交通情報**、**AUDIO & DSP設定**、**EQカーブ選択** を選ぶことはできません。 *end*

MD、TVなどをミュージックサーバーに録音する

本機より出力されるテレビ、FM/AM、ビデオ、MD、交通情報の音声は、HDDナビゲーション側のミュージックサーバーに録音することができます。



MD、TVなどをミュージックサーバーに録音する

➡ ミュージックサーバーの再生については、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

音声をミュージックサーバーに録音する

テレビ、FM/AM、ビデオ、MD、交通情報の音声を録音することができます。

1 **(SOURCE)** を押して、録音するソースに切り替える

2 **(録音/削除)** を押す
(録音/削除) を押したところから録音を開始します。

録音中の表示



① テレビ、FM/AM、ビデオ、MD、交通情報の録音では1回の録音で、1つのトラックデータが作成されます。 **end**

録音時間を設定する

録音時間を10分、30分、50分、70分、90分の中から設定できます。設定された時間になると自動的に録音が停止します。

① 初期値は70分です。

1 **(A.MENU)** を押す

2 **ミュージックサーバー** を選んで **(A.MENU)** を押す

[ミュージックサーバー]メニューが表示されます。

3 **録音設定** を選んで **(A.MENU)** を押す



- 4 **アナログ録音の時間設定**を選んで(A.MENU)を押す



- 5 時間を選んで(A.MENU)を押す



- 6 (BAND/ESC)を押して[ミュージックサーバー]メニューを解除する **end**

録音をやめる

- 1 録音中に**録音/削除**を押す
録音/削除を押したところで録音が停止します。
 他のソースに切り替えると録音は停止します。

- ➡ 録音した音声の再生方法は、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。 **end**

TVモニターの設定

TVモニターの自動開閉の設定をする

エンジンスイッチをONまたは、ACCにしたときに、TVモニターを自動的に立ち上げるか、または好きなときに手動で立ち上げるかの設定をすることができます。

1 各ソースの画面で **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す



3 **オートフラップ設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

4 **(◀▶)** を押して、好みの設定を選ぶ



(◀)	MANUALにするとき
(▶)	AUTOにするとき

AUTO	エンジンスイッチをONまたは、ACCにしたときにTVモニターを自動的に立ち上げる
MANUAL	TVモニターの (▲) を押して、立ち上げる

5 **(BAND/ESC)** を押して、[オーディオメニュー]を解除する **end**

画質の調整をする

黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗(コントラスト)を変更することができます。

- ① 外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき(昼間)と、周囲が暗いとき(夜間)の調整内容を別々に設定することができます。
- 周囲の明るさの変化にともない、この設定が自動的に切り替わります。
- ナビゲーション、テレビ、ビデオ、DVDの映像で、別々に設定内容を記憶します。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **(W)** をしばらく押し続ける
[画質調整]メニューが表示されます。

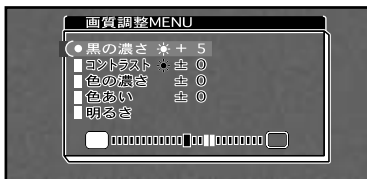
① 約30秒間何も操作しないと自動的に[画質調整]メニューは解除されます。

2 **黒の濃さ** または **コントラスト** を選ぶ



(▲)	上の項目を選ぶとき
(▼)	下の項目を選ぶとき

3 ◀ ▶ を押して、設定を調整する



TVモニター上部の外光センサーが、周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

☾ (青)：暗いとき (夜間)

☀ (黄)：明るいとき (昼間)

ボタン	黒の濃さ	コントラスト
◀	薄くなる	白黒の差が小さくなる (暗くなる)
▶	濃くなる	白黒の差が大きくなる (明るくなる)

① -24 ~ +24の範囲で設定が可能です。

4 BAND/ESC を押して、[画質調整]メニューを解除する **end**

色の濃さや色あいを調整する

お好みに合わせて、映像の色の濃さ、色あいを変更することができます。

- ① テレビ、ビデオ、DVDの映像で別々に設定内容を記憶します。
- ナビゲーションの映像では、設定調整できません。

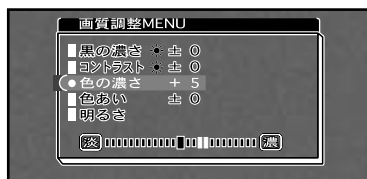
1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **W** をしばらく押し続ける [画質調整]メニューが表示されます。

2 色の濃さ または 色あい を選ぶ



▲	上の項目を選ぶとき
▼	下の項目を選ぶとき

3 ◀ ▶ を押して、設定を調整する



ボタン	色の濃さ	色あい
◀	薄くなる	赤が強くなる
▶	濃くなる	緑が強くなる

① -24 ~ +24の範囲で設定が可能です。

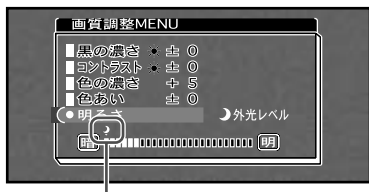
4 BAND/ESC を押して、[画質調整]メニューを解除する **end**

液晶画面の明るさを調整する

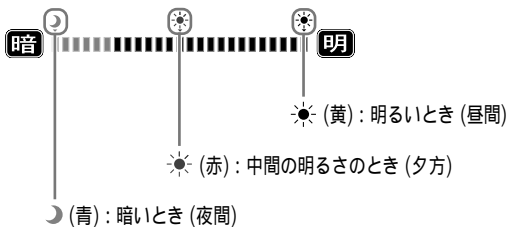
夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します（3点式インテリジェントディマー）。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの **[W]** をしばらく押し続ける [画質調整] メニューが表示されます。

2 **[▼]** を押して、**明るさ** を選ぶ



TVモニター上部の外光センサーで、周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ（外光レベル）をマークの色、形、および位置で表示します。



- ① 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

3 **[◀]** **[▶]** を押して、明るさを調節する

[◀]	画面を暗くするとき
[▶]	画面を明るくするとき



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき(月)の画面の明るさの設定を調整しています。

- ① 現在の外光レベルに設定されている、画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、それぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

4 **[BAND/ESC]** を押して、[画質調整] メニューを解除する

- ① **明るさ** の設定内容は、[画質調整] メニューが解除されるときに記憶されます。**明るさ** を調整後、車のエンジンを切ったり電源をOFFにするときは、[画質調整] メニューを解除してから行ってください。end

画面を切り替える

2画面表示させる

画面を2分割して、ソース画面（テレビ、ビデオ、DVD、CD、MD、ミュージックサーバー）とナビゲーション画面を同時に表示させることができます（ピクチャーサイドピクチャー）。

- 1 映像画面で、ナビゲーションリモコンの **[DDM]** を押す
[DDM] を押すごとに、以下のように画面表示が切り替わります。

1画面



ピクチャーサイドピクチャー

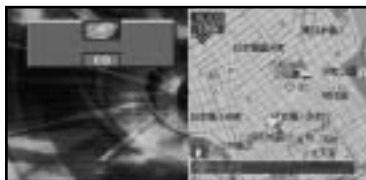


- 1
 - ソース画面どうしの2画面表示はできません。
 - 2画面とも同じ画面にすることはできません。
 - ナビゲーション画面から **[DDM]** を押すと、現在選ばれているソースとの2画面になります。
 - ピクチャーサイドピクチャーでは、ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーションの映像だけになる（1画面になる）ことがあります。
- ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。 **end**

2画面表示の左右を入れ替える

画面を2分割している場合は、左右画面を入れ替えることができます。

- 1 2画面表示で **[V]** を押す
[V] を押すごとに、左右の画面が入れ替わります。

**end**

ワイド画面の拡大方法を切り替える

通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

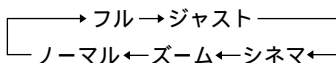
- ① • 通常映像は縦横比4 : 3、ワイド映像は縦横比16 : 9です。
- テレビ、ビデオ、DVD映像で設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションやソースの壁紙の映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 テレビ、ビデオ、DVDのいずれかの映像画面を1画面で表示させる

2 TVモニターの **W** を押して、ワイドモードを切り替える

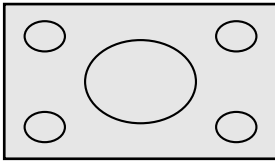


W を押すごとに、以下のようにワイドモードが切り替わります。



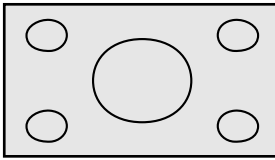
- ① • 1画面表示のときに、設定したワイドモードの映像になります。
2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。
- [オーディオメニュー] を表示しているときは、常に「フル」になります。
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。 *end*

ワイドモードの種類



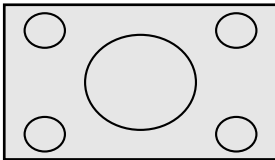
フル

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



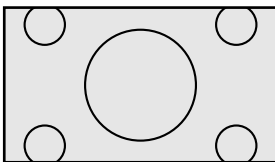
ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



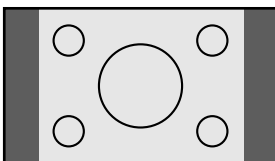
シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



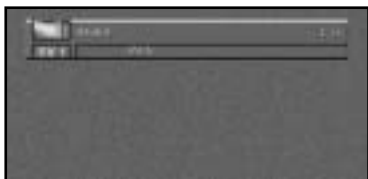
ノーマル

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

- 1 TVモニターの **(BL)** をしばらく押し続ける
もう一度 **(BL)** を押すと、画面を表示します。



画面が消えている状態 (BACKLIGHTがOFF) のときに、エンジンをOFFにして、再度ONにしたり、TVモニターを収納して再度立ち上げた場合には、画面表示が元に戻ります (BACKLIGHTがON)。 *end*

画面を切り替える／ビデオを見られるようにする

ビデオを見られるようにする

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

i 初期設定では、[VTR1]、[VTR2/AUX]ともにOFFに設定されています。

- 1 各ソース画面で **(A.MENU)** を押す
[オーディオメニュー] が表示されます。
- 2 **システム設定** を選んで **(A.MENU)** を押す




- 3 **AV入力設定** を選んで **(A.MENU)** を押す

- 4 **(▲)** **(▼)** を押して、設定する項目にカーソルを合わせる



5 を押して、VTRを **ON** にする



 を押すとOFFに切り替わります。

ON	ビデオおよびAUXの映像や音声に切り替わる
OFF	ビデオおよびAUXの映像や音声に切り替わらない

6 **BAND/ESC** を押して、[オーディオメニュー]を解除する

- i** VTR2/AUXの設定をONにしたとき、本機の映像入力端子に外部機器を接続しているとソースは [VTR2] と表示され、接続されていない場合は [AUX] と表示されます。 *end*

ビデオを見る

ビデオソースに切り替えて、ビデオ映像を見ます。

1 **SOURCE** を押して、ソースを [VTR1] または [VTR2] に切り替える



- i** [AV入力設定] で VTR1、VTR2 を ON にしないと、VTR1、VTR2 に切り替わりません。 *end*

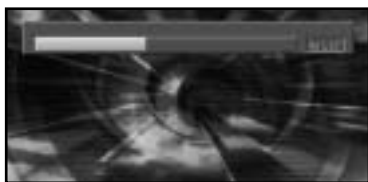
音を調整する

お好みに合わせてオーディオの音を調整することができます。

音量を調整する

お好みの音量に調整することができます。

- 1 各ソースの画面で、**(VOLUME)**を押して音量を調整する



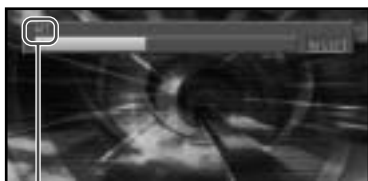
+	音量を大きくするとき
-	音量を小さくするとき

- ① 0~40の範囲で調整が可能です。
- ボリューム調整画面は、4秒間表示されます。
- TVモニターを収納していると、ソースの音は出ません。TVモニターの**(▲)**を押してモニターを立ち上げてください。end

瞬時に音を絞る

車内の会話が聞き取りにくい場合などに、一時的に音量を絞ることができます(アッテネーター)。

- 1 各ソースの画面で、ナビゲーションリモコンのVOLUMEつまみを押し込む



[ATT]画面が表示されます。

- ① ● 音量が約1/10になります。
- アッテネーターをON中にボリューム調整をした場合は、アッテネーターONを解除します。
- アッテネーター中は**AUDIO&DSP設定**と**EQカーブ設定**メニューを開くことはできません。

- 2 もう一度ナビゲーションのVOLUMEつまみを押し込んで、元の音量に戻すend

[AUDIO & DSP設定]メニューを開く

- 1 各ソースの画面で**(A.MENU)**を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。
- 2 **AUDIO & DSP設定**を選んで**(A.MENU)**を押す
[AUDIO&DSP設定]メニューが表示されます。



end

前後左右の音量バランスを調整する

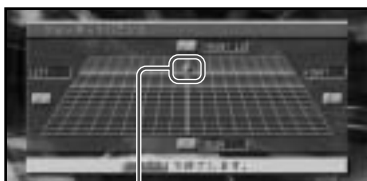
前後左右の音量バランスを調整することができます(フェーダー/バランス)。

- 1 **(A.MENU)** - **AUDIO&DSP設定** - **(A.MENU)**を押す
「[AUDIO&DSP設定]メニューを開く」

- 2 **フェーダー・バランス** を選んで **(A.MENU)** を押す



- 3 **(▲)** **(▼)** を押して、前後のバランスを調節する

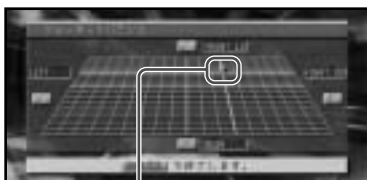


カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。

(▲)	前スピーカーの音を強めるとき
(▼)	後スピーカーの音を強めるとき

(i) F25 ~ R25の範囲で調整できます。

- 4 **(◀)** **(▶)** を押して、左右のバランスを調節する



カーソルの位置で左右の音のバランスを確認できます。

(◀)	左側スピーカーの音を強めるとき
(▶)	右側スピーカーの音を強めるとき

(i) L25 ~ R25の範囲で調整できます。

- 5 **(BAND/ESC)** を押して、[AUDIO&DSP 設定] メニューを解除する **end**

小音量時の音にメリハリをつける

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます(ラウドネス)。

(i) 初期値は、OFFに設定されています。

- 1 **(A.MENU)** - **AUDIO&DSP設定** - **(A.MENU)** を押す 42P

- 2 **ラウドネス** を選んで **(A.MENU)** を押す



- 3 **(▲)** を押して、**ON** にする



(▼) を押すとOFFに切り替わります。

- 4 **(BAND/ESC)** を押して、[AUDIO&DSP 設定] メニューを解除する **end**

各ソースの音量の違いをそろえる

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます（ソースレベルアジャスター）。

- i** • FMの音量を基準に他のソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AM、テレビ（VTR1、VTR2）、MD、ナビゲーション（DVD、CD、ミュージックサーバー）のそれぞれの音量を調整することができます。
- また、TIは調整できません。AMと同じ設定になります。

1 設定したいソースの画面で **(A.MENU)** - **AUDIO&DSP設定** - **(A.MENU)** を押す
42P

2 **リスニングポジション** を選んで **(▼)** を押す
「AUDIO&DSP設定」メニューの2ページ目が表示されます。

3 **ソースレベルアジャスター** を選んで **(A.MENU)** を押す



4 **(▲)** **(▼)** を押して、レベルを調整する



(▲)	表示しているソースの音量が上がる
(▼)	表示しているソースの音量が下がる

- i** • ± 0 を基準に ± 4 段階の範囲で調整が可能です。
- AVIC-H09を組み合わせている場合、DVDとCDは同じレベルの設定になります。

5 **(BAND/ESC)** を押して、[AUDIO&DSP設定]メニューを解除する **end**

音声案内がよく聞こえるようにする

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

① 初期値は、MUTEに設定されています。

1 各ソースの画面で(A.MENU)を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。

2 システム設定を選んで(A.MENU)を押す

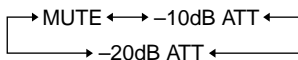


3 消音レベル設定を選んで(A.MENU)を押す

4 ◀▶を押して、好みの設定を選ぶ



◀▶を押すごとに、以下のように切り替わります。



- 20dB ATT	音声が $1/10$ になる
- 10dB ATT	音声が $1/3$ になる
MUTE	音声が聞こえなくなる

➡ ナビゲーションのオーディオミュート設定をしたときに、ここで設定した消音レベルが適用されます。ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

① • [オーディオメニュー]の設定中に、音声案内の割り込みがあった場合は、オーディオの音量は、変わりません。

• [オーディオメニュー]の設定中に、ハンズフリー音声、音声案内の割り込みがあった場合は、[オーディオメニュー]を終了して、それぞれの操作になります。

5 BAND/ESCを押して、[オーディオメニュー]を解除する *end*

音場と音質の調整

お好みの音場設定を楽しむことができます。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

- ① 初期値は、POWERFULに設定されています。
- CUSTOM1は、ソース別にイコライザーカーブを記憶します。

1 各ソースの画面で(A.MENU)を押す

[オーディオメニュー]が表示されます。

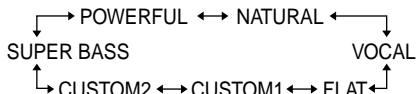
2 EQカーブ設定を選んで(A.MENU)を押す



3 ◀▶を押して、イコライザーカーブを選択する



◀▶を押すごとに、以下のように切り替わります。



- ① • CUSTOM1とCUSTOM2はお好みに合わせて調整することができます。
- FLATはイコライザーによる音の補正はされていません。
設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果確かめることができます。

4 (BAND/ESC)を押して、[EQカーブ設定]メニューを解除する end

イコライザーカーブをだまかに補正する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調整することで、お好みの音質をつくることができます。

1 (A.MENU) - AUDIO&DSP設定 - (A.MENU)を押す 42P

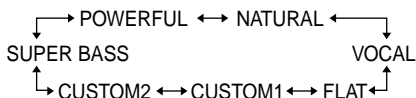
2 EQニュアンス設定を選んで(A.MENU)を押す



3 ◀▶を押して、イコライザーカーブを選択する



◀▶を押すごとに、以下のように切り替わります。



4 ▲▼を押して、イコライザーカーブを調整する

▲	レベルを上げるとき
▼	レベル下げるとき

- ① 最大±6の範囲で調整できます。
- FLATを選択した場合は、イコライザーカーブを調整できません。

5 BAND/ESCを押して、[AUDIO&DSP設定]メニューを解除する

- ① CUSTOM2以外のカーブを選んでいるときに調整すると、CUSTOM1に記憶されます。
- CUSTOM2が選択されている場合に調整を行うと、CUSTOM2に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときには、調整できません。end

イコライザーカーブを細かく調整する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調整することができます。

1 (A.MENU) - AUDIO&DSP設定 - (A.MENU)を押す 42P

2 EQ詳細設定を選んで(A.MENU)を押す



3 ◀▶を押して、調整する周波数を選ぶ



選べる周波数 (Hz)

50、80、125、200、315、500、800、1.25k、2k、3.15k、5k、8k、12.5k

4 ▲▼を押して、レベル調整をする



▲	強めるとき
▼	弱めるとき

- ① ±0を基準に±6段階の範囲で調整ができます。

5 BAND/ESCを押して、[AUDIO&DSP設定]メニューを解除する

- ① CUSTOM2以外のカーブを選んでいるときにレベル調整すると、CUSTOM1に記憶されます。
- CUSTOM2のカーブを選んでいるときに、レベル調整するとCUSTOM2に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときには、調整できません。end

イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する

リアルな音場を設定することができます (SFC)。

- i** • 初期値は、OFFに設定されています。
 • SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。

1 **(A.MENU)** - **AUDIO&DSP設定** - **(A.MENU)**を押す 42P

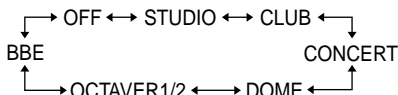
2 **音場設定**を選んで**(A.MENU)**を押す



3 **(◀) (▶)**を押して、音場を選択する



(◀) (▶)を押すごとに、以下のように切り替わります。



OCTAVERの切り替え

(▲)	OCTAVER1を選ぶとき
(▼)	OCTAVER2を選ぶとき

BBEのレベル調整

(▲)	レベルを上げるとき
(▼)	レベルを下げるとき

i 最大±4の範囲で調整できます。

この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound,Inc.の登録商標です。

4 **(BAND/ESC)**を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを解除する

STUDIO

CDのような音楽ソースを録音する場所である録音スタジオモニタールームを再現しています。音像を正面に定位し、残響音は付加しません。比較的狭いミキシングルーム壁面からの初期反射音を処理することで、基本的な音場を再現しています。

CLUB

50人程度入れるディスコを再現しています。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を聞くのに適しています。

CONCERT

1000~2000人規模のクラシック音楽専用ホールを再現しています。反射音と残響音により、音の広がりや奥行き感を楽しむことができます。

DOME

ドームスタジアムでのライブ演奏をイメージしています。遠くの壁面からの反射音によりエコー音が生じます。その効果でドームスタジアムの広さを感じられる音場を再現しています。

OCTAVER1/2

超低音を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCTAVER2のほうが、OCTAVER1よりも低音を強調する効果があります。

BBE

高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。 **end**

音場の中心で聞く

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます(リスニングポジションセレクター)。

1 (A.MENU) - **AUDIO&DSP設定** - (A.MENU)を押す 42P

2 **リスニングポジション**を選んで(A.MENU)を押す



3 (▲) (▼) (◀) (▶)を押して、ポジションを選ぶ



(▲)	FRONT↔OFF
(▼)	ALL↔OFF
(◀)	FRONT-L↔OFF
(▶)	FRONT-R↔OFF

FRONT-R

右ハンドル車に運転者のみがいるとき

FRONT-L

左ハンドル車に運転者のみがいるとき

FRONT

同乗者が助手席にいる場合

ALL

同乗者が後部座席にいる場合

(i) 選択範囲が表示されていないときはOFFになっています。

4 (BAND/ESC)を押して、「AUDIO&DSP設定」メニューを解除する

(→) 音量バランスの微調整は、「前後左右の音量バランスを調整する(42P)」で行います。
end

車種に合ったタイムアライメントを選ぶ

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中からお車に合ったものを選ぶことで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

- (i) 初期値は、SEDANに設定されています。
- 車種別タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。
- 車種別タイムアライメントは、車種に合ったタイムアライメントをあらかじめ記憶していますので、車種を選ぶことで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 (A.MENU) - **AUDIO&DSP設定** - (A.MENU)を押す 42P

2 **リスニングポジション**を選んで(▼)を押す

[AUDIO&DSP設定]メニューの2ページ目が表示されます。

つづく >>

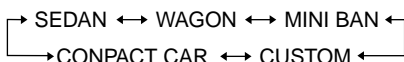
- 3 **タイムアライメント(車種設定)**を選んで(A.MENU)を押す



- 4 ◀ ▶ を押して、車のタイプを選ぶ



◀ ▶ を押すごとに、以下のように切り替わります。



i CUSTOMには、お好みに合わせて**タイムアライメント(詳細設定)**で調節したタイムアライメントが記憶されます。

- 5 **BAND/ESC** を押して、設定を終了する
end

タイムアライメントを調整する

車種別タイムアライメントとリスニングポジションを設定することで、自動的にタイムアライメントは設定されますが、タイムアライメント(詳細設定)モードではさらに厳密に調整することができます。

- i • リスニングポジションでFRONT-LかFRONT-Rを選んでいないと、タイムアライメント調整モードには切り替わりません。
- タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離の違いによる音声の到達時間のズレを補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。

- 1 (A.MENU) - **AUDIO&DSP設定** - (A.MENU) を押す 42P

- 2 **リスニングポジション** を選んで ▼ を押す

[AUDIO&DSP MENU]の2ページ目が表示されます。

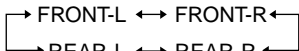
- 3 **タイムアライメント(詳細設定)** を選んで(A.MENU)を押す



- 4 ◀ ▶ を押して、設定するスピーカーを選ぶ



◀ ▶ を押すごとに、以下のように切り替わります。



- 5 ▲ ▼ を押して、座席からスピーカーまでの距離を設定する

▲	距離を遠くするとき
▼	距離を近くするとき

- ①
- 0～400cmの範囲で設定が可能です。
 - スピーカーまでの距離を2.5cmステップで調整できます。

- 6 BAND/ESC を押して、[AUDIO&DSP 設定] メニューを解除する **end**

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーターはイコライザーカーブの調整による音の歪みをなくすことができます。

- ①
- 初期値は、HIGHに設定されています。
 - 交通情報を受信している場合やソースがOFFの場合は、デジタルアッテネーターの設定はできません。
 - イコライザーカーブの調整(「イコライザーカーブを細かく調整する」(47P))で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り替えてください。

- 1 (A.MENU) - AUDIO&DSP設定 - (A.MENU) を押す 42P

- 2 リスニングポジション を選んで ▼ を押す
[AUDIO&DSP設定] メニューの2ページ目が表示されます。

- 3 デジタルATTレベル設定 を選んで (A.MENU) を押す



- 4 ◀ ▶ を押して、レベルを選ぶ



▶	レベルをHIGHにするとき
◀	レベルをLOWにするとき

- 5 BAND/ESC を押して、[AUDIO&DSP 設定] メニューを解除する **end**

その他の機能と付録

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

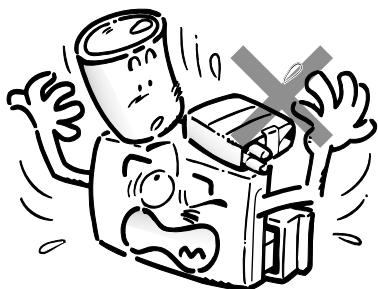
保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りTVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用していないときは、本体にTVモニターを収納してください。

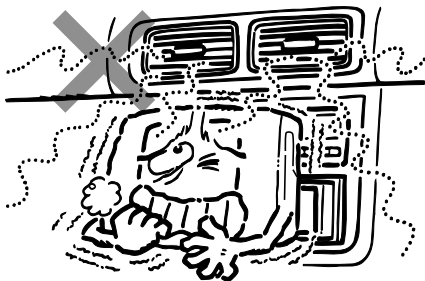
TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。




TVモニターを立ち上げたときに、TVモニターの上に物を置いたり、TVモニターの角度調節や立ち上げ、収納を手動で行ったりしないでください。TVモニターに強い力が加わると故障する恐れがあります。



TVモニターを立ち上げたときに、TVモニターがエアコンの吹き出し口の近くにくる場合は、エアコンの風がTVモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でTVモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。



TVモニターの立ち上げや収納のときに、物ははさまないように注意してください。物がはさまると、TVモニターが動かなくなることがあります。TVモニターが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度  を押してください。



エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）がでることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は、消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。

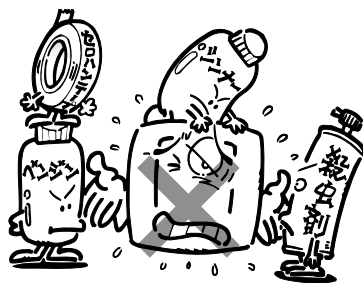
蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションに、ご連絡ください。

お手入れについて

画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



長時間録音されているMDも再生できます。
音楽用以外のMDは使用しないでください。
故障の原因になります。

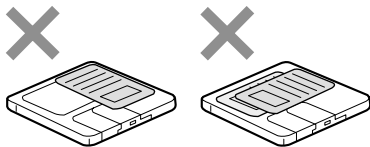
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。
無理にあけるとこわれることがあります。

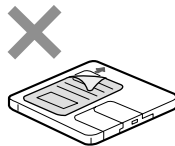


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

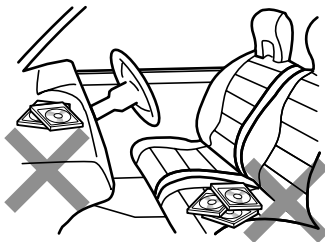


ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取りだせなくなります。このようなMDは新しいラベルに張り替えてからお使いください。



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



お手入れについて

MDカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

寒いときの結露について

寒いとき、ヒータを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

本機のリセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押して、マイコンをリセットしてください。

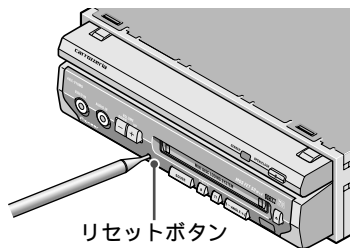
i リセットボタンは、本機前面にあります。
「各部の名前とおもな働き」(10P)

- 接続が終わった後
- 本機が正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

! リセットボタンを押すと、自動的にTVモニターの立ち上げ/収納動作をします。収納に支障がないか確かめてから、リセットボタンを押してください。

リセットする

- 1** ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



モニターは、自動的に立ち上げまたは、収納されます。

i リセットボタンを押すと、本機は、初期状態に戻ります。本機の記憶(記憶チャンネルなど)が消去されますので、もう一度セットし直してください。end

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら
修理を依頼する前に、以下
の内容をチェックしてくださ
い。

チェックしても直らないときは
本機をリセットしてくださ
い。「本機のリセットの
しかた」(55P)

それでも直らないときは
「保証書とアフターサービ
ス」(59P)をお読みになり
修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。 画面が正しく表示されない。	各リード線や各コネク ターが正しく接続されて いない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一 度確認してください。 『取付説明書』
車のエンジンスイッチを OFFにしてもTVモニター が収納されない。	自動開閉機能が解除され ている。	オートフラップ設定をAUTOにしてください。 「TVモニターの自動開閉の設定をする」 (34P)
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さ または 色あい の調整が適切でない。	色の濃さ または 色あい を調整してください。 「色の濃さや色あいを調整する」(35P)
映像の色あいがおかしい。		
映像が明るい。 映像が暗い。	コントラスト の調整が適 切でない。	コントラスト を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」(34P)
液晶画面の中に、小さな 黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障 ではありません。	—
映像がギザギザに表示さ れる。	ワイド画面特有の現象で、 故障ではありません。	—
	明るさ の調整が適切で ない。	明るさ を調整してください。 「液晶画面の明るさを調整する」(36P)
液晶画面が暗い。	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗 くなることがありますので、ヒーターで車内の 温度を上げてください。
	音量を下げている。	音量をあげてください。 「音量を調整する」(42P)
音が出ない。 音が小さい。	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 「瞬時に音を絞る」(42P)
	前後の音量バランスの調 整が適切でない。	正しく調節してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(42P)
	TVモニターを収納して いる。	TVモニターを立ち上げてください。 「TVモニターを立ち上げる」(13P)
前または後ろのスピー カーから音が出ない。	前後の音量バランスの調 整が適切でない。	正しく調節してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(42P)
左または右のスピーカ ーから音が出ない。	左右の音量バランスの調 節が適切でない。	正しく調節してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(42P)

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「基本的なテレビの見かた」(17P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「基本的なテレビの見かた」(17P)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「基本的なテレビの見かた」(17P)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオ受信中に“ジー ジー、ザーザー”とい う雑音が多い。	放送局の周波数が合っ ていない。	周波数を正しく合わせてください。 「基本的なラジオの聞きかた」(22P)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 「基本的なラジオの聞きかた」(22P)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「基本的なラジオの聞きかた」(22P)

MD (AVIC-V07MDのみ)

症 状	原 因	処 置
MDソースに切り替わ らない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな 雑音が出る。 MDの再生が途中で止 まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴がつ いている。	
	録音されていないMDを挿 入した。	MDを取り出して正しい方向に挿入してくだ さい。 「基本的なMDの聞きかた」(27P)
	MDが正しい方向で挿入さ れていない。	

故障かな？と思ったら

MDのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクをとりだしてください。]	本機の内部温度が高い、または低いとき	MDディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
[ERROR 11,12,17,30]	MDが汚れているとき MDにキズやひびがあるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
[ERROR 22,24]	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 23]	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき	音楽が録音されたMDを使用してください。
[ERROR 01,11,12,17,30,A0]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生をしてください。
[ERROR A1]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して、もう一度MD再生をしてください。 「本機のリセットのしかた」(55P)
[ERROR]	MDが何らかの原因で再生しないとき	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」(55P)
[Blank MD]	何も録音されていないIMDを挿入したとき	他のMDと交換してください。

TOC (Table Of Contents) とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、TVモニターと組み合わせているHDDナビゲーションサーバー本体の両方をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

仕様

共通部

- 使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
- アース方式 : マイナスアース方式
- 最大消費電流 : 10 A
- 外形寸法 (本体)
(取付寸法) :
178 (W) × 50 (H) × 167 (D) mm
(ノーズ寸法) :
171 (W) × 46 (H) × 24 (D) mm
(モニター部) :
168 (W) × 123 (H) × 13 (D) mm
- 質量 (本体)
AVIC-V07MD : 2.9 kg
(コードユニット含まず)
AVIC-V07 : 2.7 kg
(コードユニット含まず)

モニター部

- 画面サイズ : 7.0インチワイドディスプレイ
- 有効表示面積 : 87.1 × 154.1 mm
- 有効画素数 : 336,960画素
(234 × 1,440)
- 方式 : TFTアクティブマトリクス方式
透過型
- エッジライト : 冷陰極L字管
- 使用温度範囲 : -10 ~ +50
- 保存温度範囲 : -20 ~ +80

TVアンテナ部

- 外形寸法 :
30 (W) × 28 (H) × 192 (D) mm
(収納時、アンテナベース含まず)
- 質量 : 270 g
(コード含む、片側)
- 出力端子 : 3.5 ミニプラグ × 4
アンテナ
ケーブル : 6m

TVチューナー部

- 受信チャンネル : VHF1 ~ 12 ch、
UHF13 ~ 62 ch
- 実用感度 : 6 dBμ (75、モノラル音声)
- 映像S/N : 440 dB以上
(59 dBμ 入力、白100%)
- 映像雑音制限感度 : 40 dBμ
- クロストーク : 主 副 35 dB以上
副 主 40 dB以上
- S/N : 60 dB (IHF-Aネットワーク)
- ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)
- 外部映像入力レベル : 1 Vp-p/75
- 外部音声最大入力レベル : 1.5V/22 k
- アンテナ入力 : 4 chダイバーシティ

FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
 実用感度 : 9 dB
 (0.8 μ V/75、モノラル、S/N : 30 dB)
 S/N : 50 dB
 感度 : 14 dB μ
 S/N : 70 dB以上
 高調波歪率 : 0.3 %
 周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz
 (\pm 3 dB)
 ステレオセパレーション : 40 dB (65 dB入力、1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz
 (9 kHz)
 実用感度 : 18 μ V
 (S/N : 20 dB)
 実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

MDプレーヤー部 (AVIC-V07MDのみ)

形式 : ミニディスクデジタルオーディオシステム
 使用ディスク : ミニディスク
 信号フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16ビット直線
 周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz
 (\pm 2 dB)
 S/N : 88 dB (1 kHz IHF-A ネットワーク) スピーカーOUT
 ダイナミックレンジ : 80 dB (1 kHz IHF-A ネットワーク) スピーカーOUT
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

オーディオ/DSP部

最大出力 : 50 W \times 4
 定格出力 : 22 W \times 4
 負荷インピーダンス : 4
 (4 ~ 8 使用可能)
 ラウドネスコンター : 10 dB (100 Hz)、
 6 dB (10 kHz)
 イコライザー : 周波数 : 50 Hz、
 (3バンドイコライザー) 80 Hz、125 Hz、
 200 Hz、315 Hz、
 500 Hz、800 Hz、
 1.25 kHz、2 kHz、
 3.15 kHz、5 kHz、
 8 kHz、12.5 kHz、
 調整幅 : \pm 6 dB

付属品

コード類 : 1式
 取付キット : 1式
 取付説明書 : 1
 安全上のご注意 : 1
 保証書発行兼お客様 : 1
 登録カード
 ご相談窓口・修理窓口 : 1
 のご案内

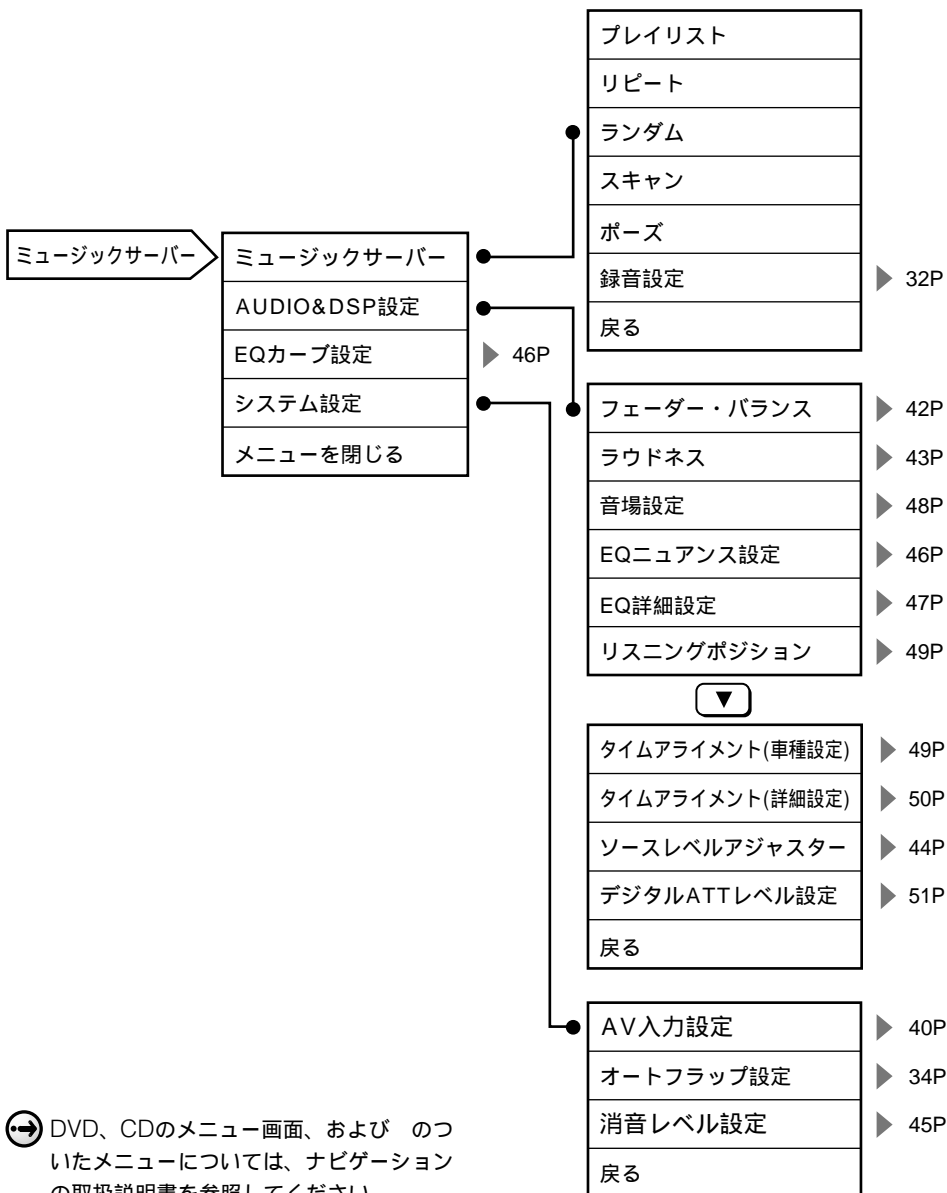
本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

- i** •仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。外国ではご利用いただけません。

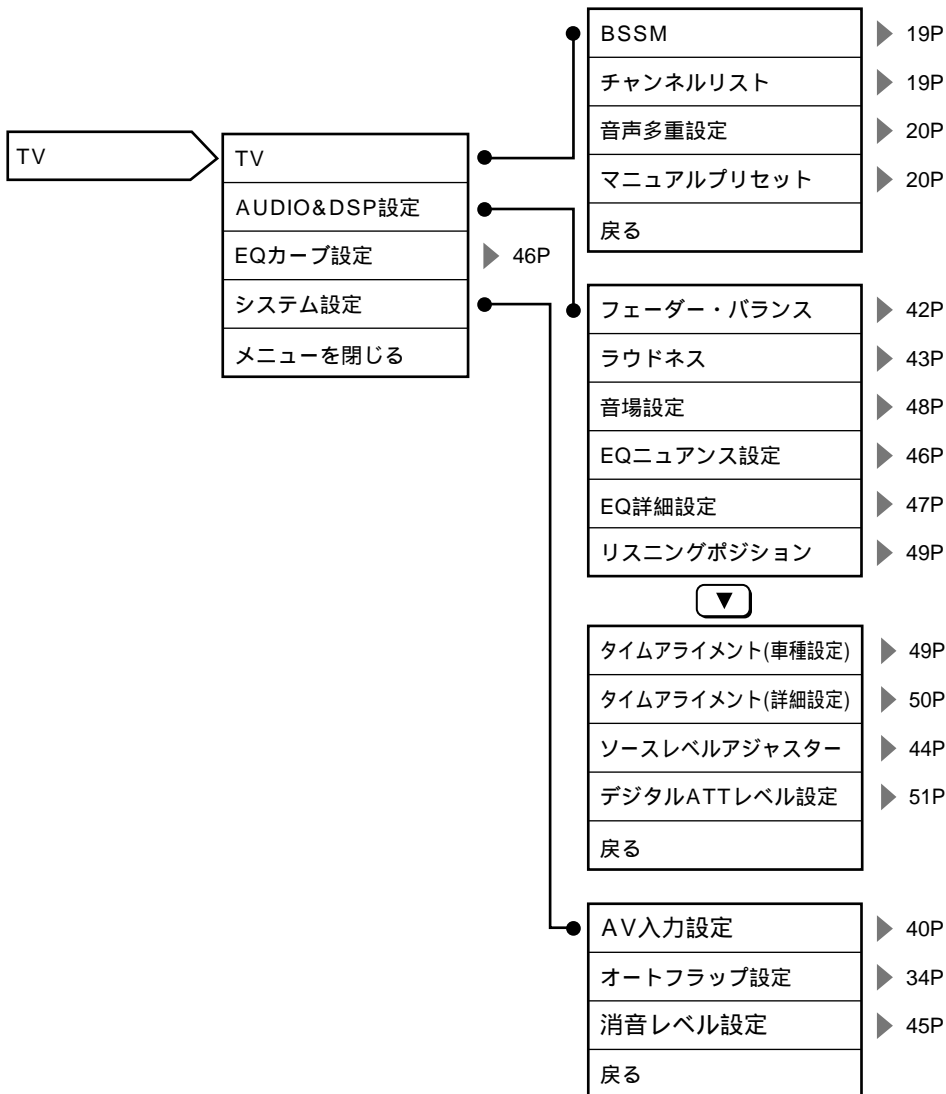
索引

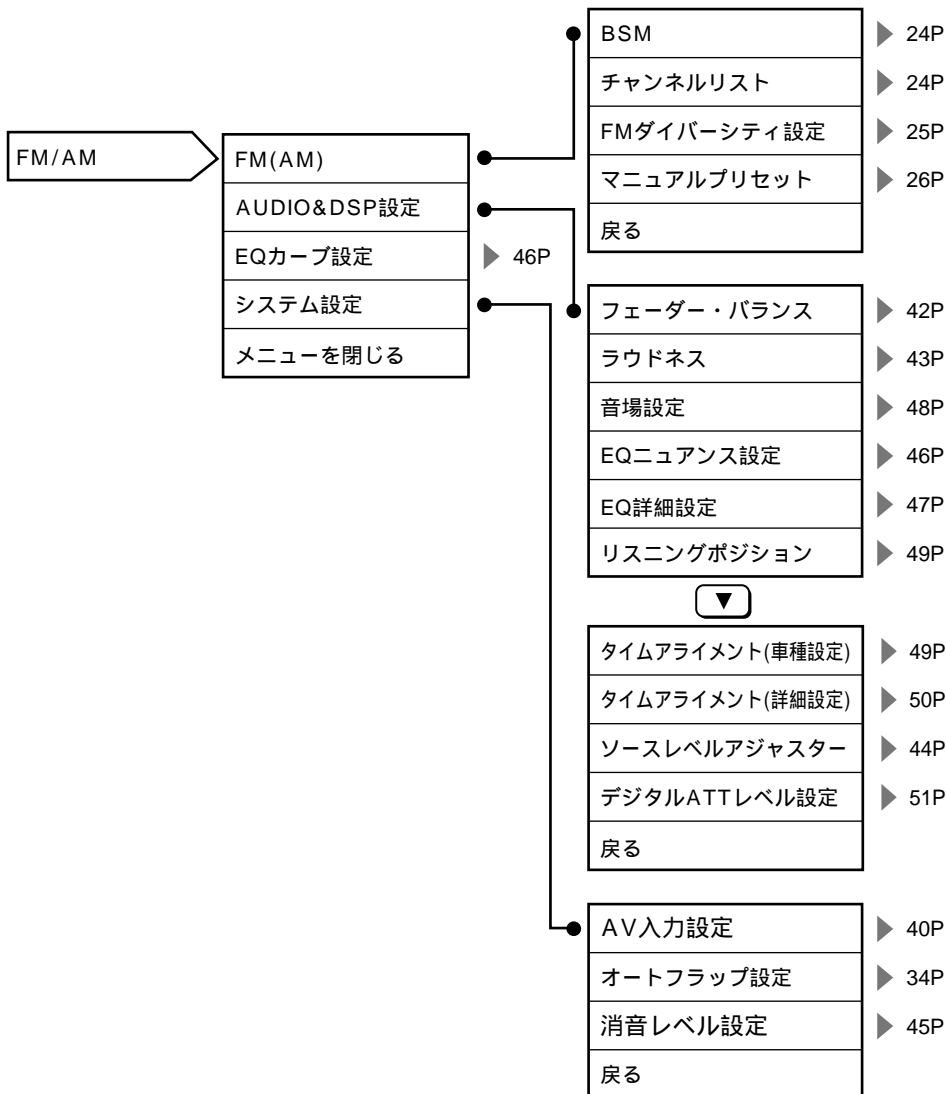
メニュー索引

オーディオメニューの一覧



➡ DVD、CDのメニュー画面、および のついたメニューについては、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。





AMでは、メニューを開くことはできません。

MD(AVIC-V07MDのみ)

MD

AUDIO&DSP設定

EQカーブ設定 ▶ 46P

システム設定

メニューを閉じる

リピート ▶ 28P

ランダム ▶ 28P

スキャン ▶ 29P

トラックリスト ▶ 30P

ポーズ ▶ 30P

戻る

フェーダー・バランス ▶ 42P

LOUDNESS ▶ 43P

音場設定 ▶ 48P

EQニュアンス設定 ▶ 46P

EQ詳細設定 ▶ 47P

リスニングポジション ▶ 49P



タイムアライメント(車種設定) ▶ 49P

タイムアライメント(詳細設定) ▶ 50P

ソースレベルアジャスター ▶ 44P

デジタルATTレベル設定 ▶ 51P

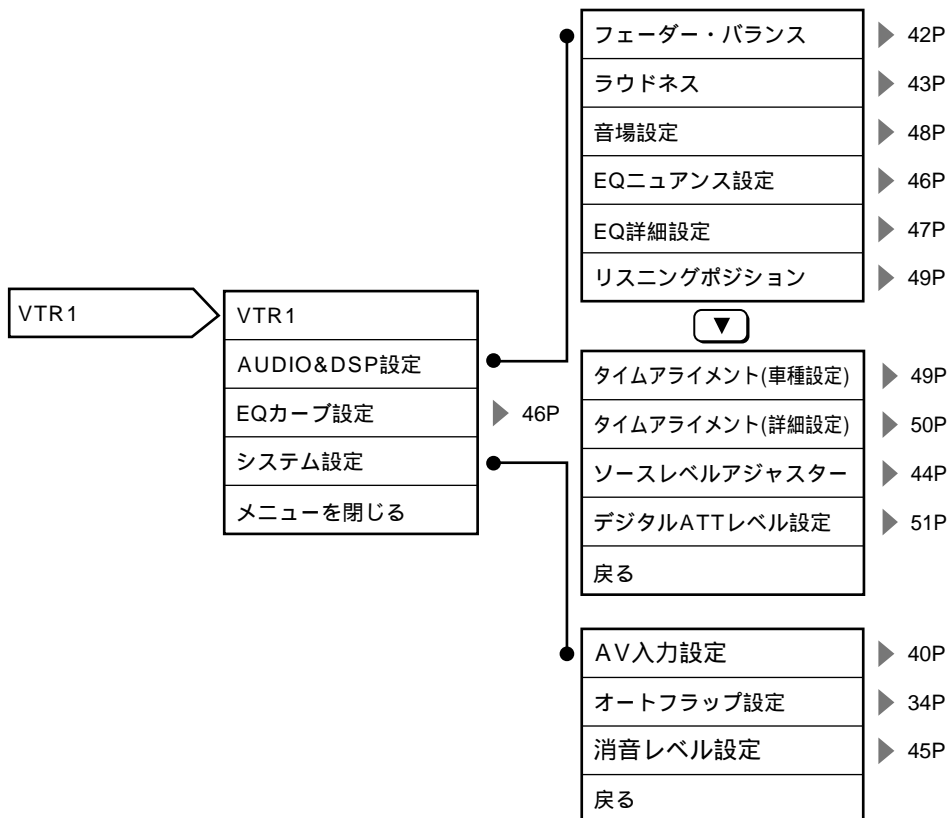
戻る

AV入力設定 ▶ 40P

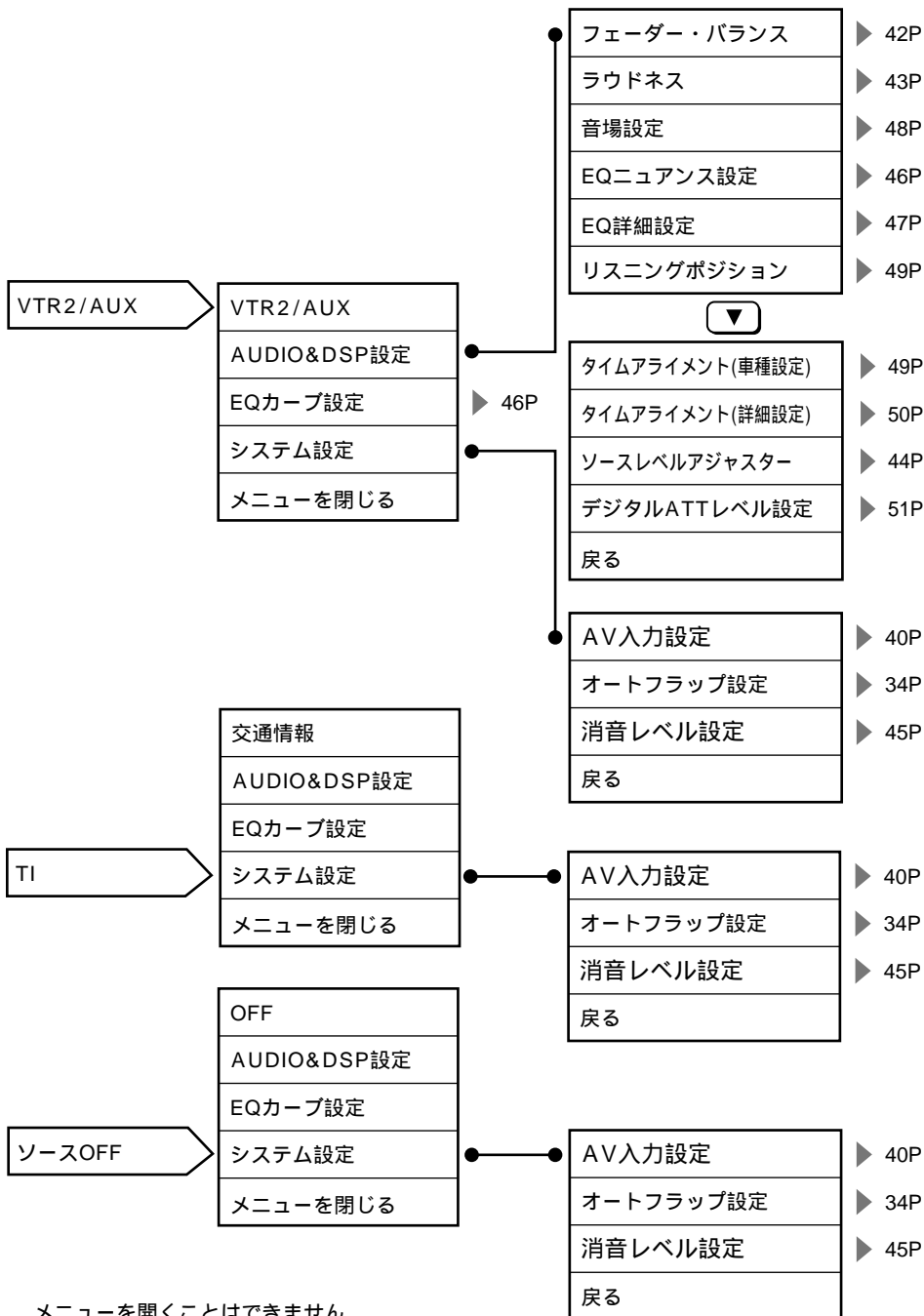
オートフラップ設定 ▶ 34P

消音レベル設定 ▶ 45P

戻る



メニューを開くことはできません。



メニューを開くことはできません。



お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

< KFJZF/01C00000 > < CRA3177-A >